

『国際政治』第162号原稿募集

「ボーダー・スタディーズの地平」 (仮)

人間が生存する実態空間そのものと、その人間が有する空間認識・集団認識のなかで派生する差異化(自他の区別)を境界(ボーダー)事象と位置づけると、この事象を読み解くことで世界の様々な地域の対立や紛争を理解し、解決するための手がかりを引き出すことが可能です。いわば、ボーダー・スタディーズとは、これまでの緻密で手堅いそれぞれの分野の地域研究の蓄積を、その多様性を前提としながらも、境界(ボーダー)をキーワードとして地域横断的かつ分野横断的に再構成し、異なる地域の事象を比較・総合し、新たな研究領域を切り開こうとするものです。

本特集においては、特に、実態空間の接点にあたる「国境」の問題に焦点をあて、そこに住む人間が持つ空間認識や集団認識がズレることによって、いまや全世界で共時的に表出している現象を題材に、これを「脱境界化」、「再境界化」、「跨境化」などの観点から再整理するとともに、旧来の地域研究の枠を越えた理論的な問題提起を行う作品が期待されています。もとより、これら境界(ボーダー)は実態も認識もズレを抱え込みながら、歴史のなかで再生産され続けるものであり、絶対的なものではありません。本特集では、このように広い意味での境界(ボーダー)にかかわる事象をどのように読み解くかという問題意識を前提とした上で、具体的な地域において問題の所在を探り、その様態を考察し、解決方法を模索し、併せてその解決実現に向けて提言をも行う現場密着型の論文もまた歓迎されます。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと趣旨を600～800字程度にまとめ、自宅および勤務先の住所・電話・FAX・電子メールアドレス(必要に応じて出張、休暇中の連絡先を含む)を明記した上で、2009年9月30日(期限厳守)までに編集責任者にメールでお送り下さい。

テーマとの関係、本号の全体的構成などを総合的に検討した上で、執筆をお願いする方には2009年10月20日までにご連絡致します。なお論文の最終締め切りは2009年4月2日、論文の分量は注を含め2万字以内と致します。また最終的な掲載は論文提出後に決定致しますので、この点を予めご了承下さい。

執筆要領については学会ホームページか『国際政治』152号をご参照ください。お申し込み、お問い合わせは以下の連絡先までお願い致します。

《編集責任者》 岩下明裕

郵便番号 060-0809

札幌市北区北9西7 北海道大学スラブ研究センター

《電話》 011-706-2388

《FAX》 011-706-4956

《メール》 iwasi@slav.hokudai.ac.jp